

(環境省同時発表)

平成20年6月26日 水環境創造課

電話 内線 (4347)

直通 (076-225-1491)

環境省「環境技術実証事業」実証技術の選定について

環境省の標記実証事業（湖沼等水質浄化技術分野）の実証機関となっている本県において、「河北潟西部承水路における内部生産抑制等実証技術」を公募したところ、3技術の応募があり、石川県環境技術実証委員会（委員長：寺田喜久雄金沢大学名誉教授）において2技術が選定され、当該技術について実証運営機関である社団法人日本水環境学会から承認されました。

1 技術・製品の名称：炭素繊維を用いた水質浄化技術

環境技術開発者：帝人株式会社、群馬工業高等専門学校

（東京都千代田区霞ヶ関3-2-1、

群馬県前橋市鳥羽根町580）

2 技術・製品の名称：あま〜る式電気分解処理装置

環境技術開発者：シグマサイエンス株式会社

（兵庫県小野市黒川町85-6）

(参考)

1 環境技術実証事業の概要等

当該事業は、既に適用可能な段階にありながら、環境保全効果等に客観的な評価が行われないため、普及が進んでいない先進的な技術について、第三者が客観的に実証することにより、環境技術の普及を促進し、環境保全と環境産業の発展を促進するものである。

2 選定の経緯

(1) 募集期間 5月12日から5月30日

(2) 石川県環境技術実証委員会 6月6日

3 今後の予定

(1) 県が実証試験計画を策定

7月中

(2) 県が実証試験実施（3月に環境省に報告）

8月～10月

4 過去の状況

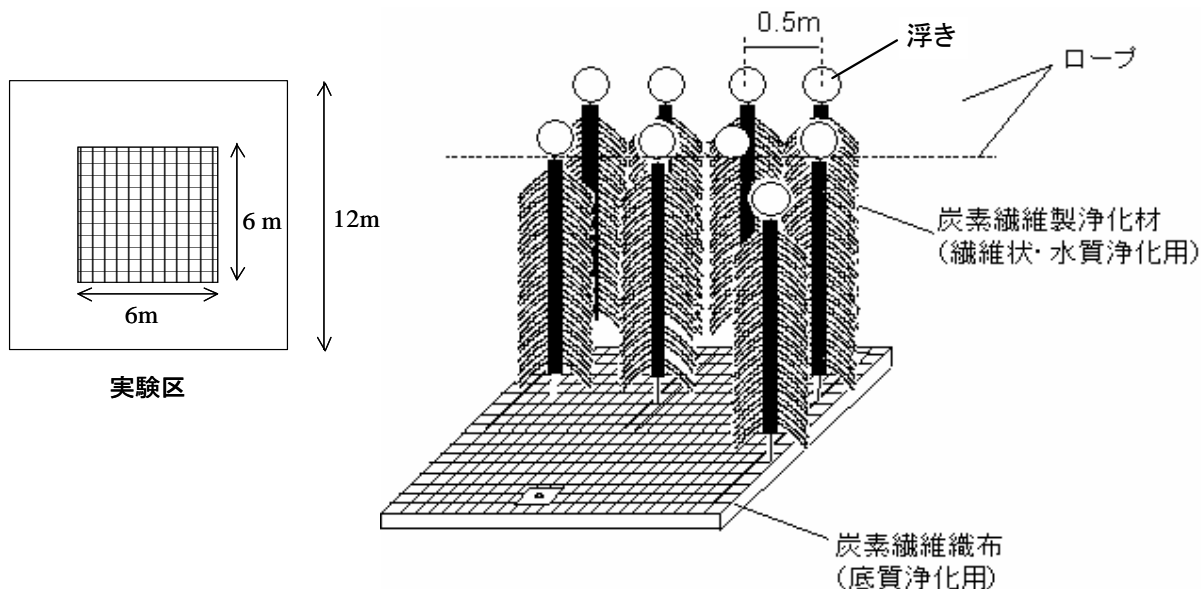
(1) 平成18年度 応募技術：14技術、選定：2技術

(2) 平成19年度 応募技術：6技術、選定：2技術

平成20年度環境技術実証事業 対象技術

○炭素繊維を用いた水質浄化技術

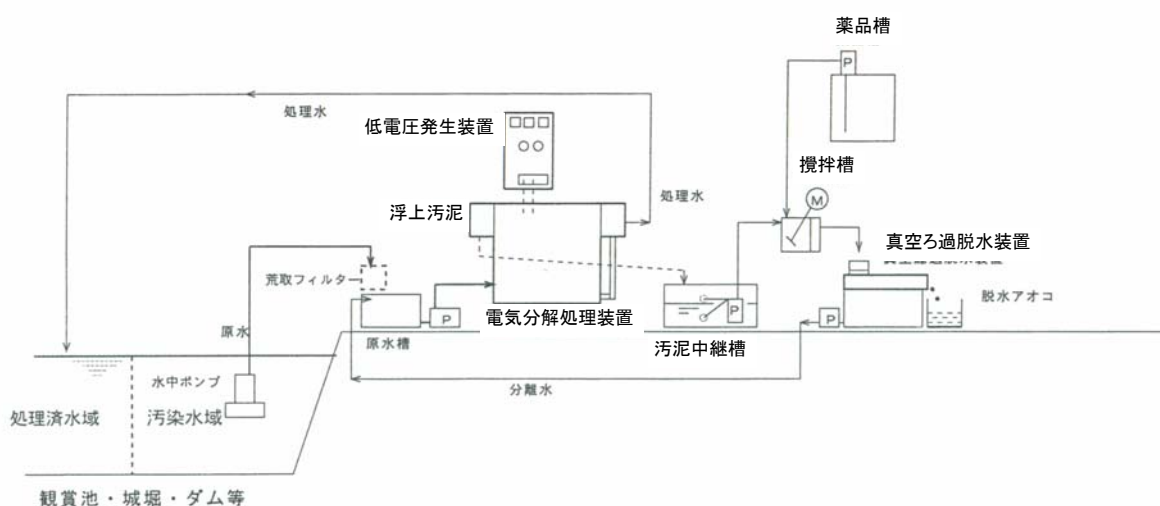
環境技術開発者：帝人株式会社、群馬工業高等専門学校
(東京都千代田区、群馬県前橋市)



生物膜形成能の高い炭素繊維を用いて、浮遊物質の吸着及び微生物による有機物の分解を促進し、水質浄化を行う。

○あま〜る式電気分解処理装置

環境技術開発者：シグマサイエンス(株)(兵庫県小野市)



電気分解により、電極から溶出するアルミニウムイオンと水酸化イオンとで形成されるフロックによる吸着及び水素ガス発生によるフロックの浮上回収により、有機物等を凝集・除去し、水質浄化を行う。